

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホーム つばめ

作成日：平成22年 2 月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	各個人が得意・不得意な面をチームで補っていたが、慣れによる職員間の感情的な言葉のやりとりなど環境(人的)への影響をフィードバックする必要あり。	職員間でも、気持ちよい言葉のやりとりをする。	個人…相手に対して支援について意見を述べあう場合は、一呼吸おいて話す習慣を身につける。 チーム…スタッフ間の会話で、不快に感じるような言動がみられた場合お互いに助言をしよう。	12ヶ月
	13		チームの中で、それぞれの持っている力を生かして、利用者主体の支援	1. リーダーは、申し送りを聞いた後、その日の支援ポイントを伝達し、それぞれが持っている力をいかせる様にリーダーシップの発揮。 2. 勤務体制の考慮	12ヶ月
2	19	家族来所時、主に管理者が常時対応しがちである。 職員と家族の絆をより深める必要あり。	職員と家族の絆をより深め、利用者支援に生かす	家族への対応 1. 面会などにおける家族への対応(報告・記録・送り)の徹底 2. 各利用者の方への対応(言葉かけ)について掲示や報告にて理解を求める	12ヶ月 1ヶ月
3	33	未経験である重度化や終末期の取り組み	スタッフ各人が、重度化や終末期に向けた心構えができる。	1. 終末期を経験した、他施設の事例を参考にして検討会を実施(2回/年)	12ヶ月
4	35	喫煙者により喫煙所の管理	火災予防に向けた、安全対策の徹底	1. 喫煙者は各勤務終了時に灰皿の清掃。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。